



2026年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年9月14日

東

上場会社名 クラシコ株式会社

上場取引所

コード番号 442A

URL <https://classico.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 大和 新

問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO

（氏名） 相馬 知明

（TEL） 03(6427)4767

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 （機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年10月期第3四半期の業績（2025年11月1日～2026年7月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年10月期第3四半期	2,166	△19.7	△423	—	△429	—	△1,076	—
2025年10月期第3四半期	2,696	—	112	—	99	—	117	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年10月期第3四半期	△521.85	—
2025年10月期第3四半期	99.81	73.26

（注）1. 2026年10月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

2. 当社は、2024年10月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、2025年10月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年10月期第3四半期	1,875	750	39.9
2025年10月期	2,405	1,413	58.8

（参考）自己資本 2026年10月期第3四半期 749百万円 2025年10月期 1,413百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年10月期	—	0.00	—	—	—
2026年10月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年10月期の業績予想（2025年11月1日～2026年10月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	2,919	△19.6	△552	—	△561	—	△1,201	—	△581.90

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年10月期3Q	2,070,390株	2025年10月期	1,748,390株
-------------	------------	-----------	------------

② 期末自己株式数

2026年10月期3Q	—株	2025年10月期	—株
-------------	----	-----------	----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年10月期3Q	2,062,389株	2025年10月期3Q	1,175,000株
-------------	------------	-------------	------------

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(会計方針の変更)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、「医療現場に、感性を。」というミッションの下、医療現場で働く医師や看護師などの医療従事者に対し、白衣・スクラブ(上下分かれた医療ウェア)、患者衣及び周辺小物等のメディカルアパレル商品の企画、開発及び販売を行っております。医療従事者が誇りを持ち、モチベーションを高く保ちながら、高いパフォーマンスで働けるよう、当社は、メディカルアパレルを機能重視の支給品からプロ意識を表現するファッションへと進化させ、こだわり抜いたものづくりを通じて、耐久性、着心地、機能性、そして美しさを高次元で兼ね備えたメディカルアパレルを提供しています。

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景とした個人消費の底堅さにより緩やかな回復基調が見られたものの、中東情勢は米国・イラン間の軍事衝突再発により緊張状態が長期化しており、資源・エネルギー価格の高止まりが続いております。原油高は輸入原材料や物流コストの上昇を通じて企業の投入コストを押し上げており、価格転嫁の進展に伴い、年度後半にかけて消費者物価の上昇圧力が再び強まることが見込まれます。中東情勢が一段と長期化・深刻化した場合には、供給制約の強まりや物価上昇と成長鈍化が併存する展開により、個人消費や企業の投資マインドが下押しされるリスクも指摘されており、依然として先行きの不透明感は強い状況にあります。加えて、内外の金融政策正常化に伴う金利上昇や、原材料・エネルギーコストの上昇を背景とした製造コストの増加も、当社の事業環境における懸念材料となっております。

そのような環境の下、2025年度大型補正予算「医療・介護等支援パッケージ」により診療報酬改定では本体3.09%、薬価を含む合計2.22%のプラス改定が決定されました。また、本来は改定年に当たらない介護報酬についても、従事者処遇改善や物価上昇対応を目的とした2.03%の臨時改定が実施されました。これらの改定に加えて、人口動態変化による医療・介護需要に伴う医療人口の増加や感染防止のための医療用アパレルの一人当たりの必要枚数の増加により国内及び海外メディカルアパレルの需要は増加傾向にあります。

当第3四半期累計期間においては、2025年11月から米国、カナダ、オーストラリア向け公式オンラインストアをオープンし、海外展開国を17の国と地域に拡大しました。また、2025年12月から楽天市場及びAmazonに公式ストアを開設し、エントリーモデルを中心としたラインナップで、これまで接点が小さかった新規顧客の獲得を強化しました。

その一方で、資本業務提携先である株式会社エランへの卸売取引である患者衣lifteについては、当期は下期に受注が偏重する計画としていたところ、中東情勢に起因するインフレ・物価高騰を受けて医療機関における新規導入の買い控えが生じ、新規導入件数が減少したことにより、受注が前年同期を大きく下回りました。また、海外法人販売の内、特に中国において日中関係の悪化や中国国内の景気減速を背景とした医療機関の予算抑制・調達厳格化により、長く協議を進めていた法人向け大型案件の受注成約が後ろ倒しとなったことで計画を大きく下回りました。

当社は、以上の成長戦略の実行状況の乖離及び事業計画公表後に顕在化した外部環境の変化を踏まえ、本日開催の取締役会において経営方針の転換の実施を決定するとともに、これに伴う特別損失(棚卸資産処分に伴う損失、固定資産減損損失等)を計上し、業績予想を修正いたしました。経営方針の転換の内容及び業績予想修正の詳細につきましては、本日別途公表の「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は2,166,230千円(前年同期比19.7%減)、営業損失は423,501千円(前年同期は営業利益112,195千円)、経常損失は429,607千円(前年同期は経常利益99,143千円)、四半期純損失は1,076,254千円(前年同期は四半期純利益117,276千円)となりました。

なお、当社の事業は、メディカルアパレル事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は1,839,881千円となり、前事業年度末に比べ340,290千円減少いたしました。これは主に商品が314,010千円減少したことによるものであります。固定資産は35,936千円となり、前事業年度末に比べ189,752千円減少いたしました。これは主に投資その他の資産が170,835千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は1,875,818千円となり、前事業年度末に比べ530,043千円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は740,198千円となり、前事業年度末に比べ15,759千円増加いたしました。これは主に短期借入金が42,500千円、未払法人税等が29,361千円、流動負債のその他に含まれる未払消費税が18,784千円減少したものの、1年内返済予定の長期借入金が74,836千円、流動負債のその他に含まれる未払金が31,304千円増加したことによるものであります。固定負債は385,500千円となり、前事業年度末に比べ117,882千円増加いたしました。これは長期借入金が117,882千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,125,698千円となり、前事業年度末に比べ133,641千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は750,119千円となり、前事業年度末に比べ663,685千円減少いたしました。これは主に一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式の発行及び第三者割当増資により資本金及び資本準備金がそれぞれ205,886千円増加したものの、四半期純損失の計上により利益剰余金が1,076,254千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は39.9%（前事業年度末は58.8%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年10月期の通期の業績予想については、2025年12月15日公表の通期の業績予想を修正しています。詳細につきましては、本日公表の「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年10月31日)	当第3四半期会計期間 (2026年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	398,734	587,359
売掛金	253,164	122,708
電子記録債権	483	717
商品	1,296,606	982,595
原材料	144,901	79,206
その他	86,528	111,740
貸倒引当金	△246	△44,446
流動資産合計	2,180,172	1,839,881
固定資産		
有形固定資産	13,243	—
無形固定資産	5,673	—
投資その他の資産	206,771	35,936
固定資産合計	225,688	35,936
資産合計	2,405,861	1,875,818
負債の部		
流動負債		
買掛金	277,532	272,310
短期借入金	100,000	57,500
1年内返済予定の長期借入金	106,748	181,584
未払法人税等	29,361	—
その他	210,796	228,803
流動負債合計	724,438	740,198
固定負債		
長期借入金	267,618	385,500
固定負債合計	267,618	385,500
負債合計	992,056	1,125,698
純資産の部		
株主資本		
資本金	836,231	1,042,118
資本剰余金	834,831	1,040,718
利益剰余金	△257,258	△1,333,512
株主資本合計	1,413,804	749,323
新株予約権	—	795
純資産合計	1,413,804	750,119
負債純資産合計	2,405,861	1,875,818

(2) 四半期損益計算書

(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年7月31日)
売上高	2,696,570	2,166,230
売上原価	1,272,535	1,035,040
売上総利益	1,424,035	1,131,190
販売費及び一般管理費	1,311,840	1,554,691
営業利益又は営業損失(△)	112,195	△423,501
営業外収益		
受取利息	64	498
受取補償金	118	6,484
ポイント収入	1,622	1,875
為替差益	2,330	2,575
その他	255	0
営業外収益合計	4,391	11,433
営業外費用		
支払利息	9,526	8,660
支払手数料	5,842	5,038
その他	2,075	3,840
営業外費用合計	17,443	17,539
経常利益又は経常損失(△)	99,143	△429,607
特別損失		
減損損失	—	28,829
事業構造改善費用	—	446,367
特別損失合計	—	475,197
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	99,143	△904,805
法人税、住民税及び事業税	18,798	4,615
法人税等調整額	△36,932	166,834
法人税等合計	△18,133	171,449
四半期純利益又は四半期純損失(△)	117,276	△1,076,254

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

税金費用については、従来、原則的な方法により計算しておりましたが、決算業務の一層の効率化を図るため、第1四半期会計期間の期首より（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）に記載の方法に変更しております。なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、見積実効税率に替えて法定実効税率を用いることとしております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年11月5日付で東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場に当たり、2025年11月4日を払込期日とする一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式の発行（普通株式280,000株）を行いました。また、大和証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当増資による新株式の発行（普通株式42,000株）を行い、2025年12月3日に払込が完了いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ205,886千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が1,042,118千円、資本剰余金が1,040,718千円となっております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間における減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年7月31日)
減価償却費	6,109 千円	3,599 千円

(セグメント情報等の注記)

当社は、メディカルアパレル事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

繰延税金資産の取り崩し

当第3四半期会計期間末において、今後の業績動向等を勘案し、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産166,834千円を取り崩し、同額を法人税等調整額に計上しました。